



港区新橋5-15-5  
交通ビル 3F  
国労東日本本部  
発行責任者 佐藤 勝雄  
編集責任者 伊藤 隆夫

2005年7月11日  
第628号  
定価 20円  
組合員の購読料は  
組合費に含まれています

もう一人の仲間を国労に  
**国労加入を  
大胆に訴えよう**  
アドレス <http://www.e-nru.com>

# 第5回出向連総会を開催 JR東会社と出向会社毎の要求で闘う

2001年の「設備メンテナンス再構築」に伴う多くの仲間の出向発令以降、国労東日本本部は「安全・安定輸送」に責任を持つ立場から出向先の労働条件、協力会社に働く労働者との連帯を進めるために「会社毎に出向者連絡会」を結成し運動を進めてきた。

こうした中、6月18日、第5回出向者連絡会総会を東京新橋・交通ビルにて開催した。

総会は前段、各会社別出向連交流会を個別開催し、新役員を選出と会社別要求書の確認した後に集結。当面する問題と課題の改善に向け意思統一を深めあった。(当日の詳細は裏面に掲載)

## 東日本本部からの提起

昨年(2004年)の第4回総会以降、各出向連で勤務関係、手当・賃金関係、労働条件、研修等及び職場環境改善の取り組みがされた。同時に出向満期の3年目対応として、本人希望を前提にした取り組みの意思統一が行われてきた。

<1> 過去・現在の施策の検討 JRと協力会社一体の安全責任体制の確立 技術の継承 労働条件の確立の4つの課題を取り組んできた。更に協力会社の労働者と連帯を進めるため、「会社毎に出向者連絡会」を結成してきた。

その成果として、通勤超勤手当・就業規則の変更・更衣時間をJR並とさせることなど、少しずつ改善が確認できた。

今後の取り組みは出向連役員会等で再度意思統一を行い、パートナー会社毎の要求書を作成し、JR東日本に提出し労働条件の改善に全力で取り組む。

<2> 設備メンテ施策はJR東日本の経営状況に大きく左右され「修繕費」削減による安全問題等を内包している。現に1年間で約4,100人の社員が退職し、170億円の「人件費」が削減された。社員数の減少、技術力の低下、修繕費の削減が進めば「安全・安定」輸送確立は危うくなる。



また、本年4月25日には、107名の尊い命が奪われ、多くの方々が負傷したJR西日本「福知山線脱線事故」が発生している。労働組合として「安全」問題は重要な任務と考える。



今総会で、これまでの「足跡」を確認し、安全と労働条件改善のためにメンテナンス体制下の「仕事総点検運動」を出向先企業職場とJR職場が一体となって取り組みを行い、合わせて組織の強化・拡大を進めて行く。

<3> 会社別役員会を必要の都度開き議論を行う。下請け会社の経営の圧迫や、些細な「事故」に対して個人責任追及、安全会議後の「理解度」試験など、交通事故による労働者への責任転嫁等。下請け労働者ただ働き問題などの報告を受けおり、関係機関と連携を図り、課題の改善に向けて取り組む。

<4> 出向者連絡会総会の日程・在り方、出向組合員名簿・出向期間管理など、東日本本部として整備を図っていく事とする。第6回総会は出向期間の基本が1年単位となり地方毎に実施時期が異なる。よって、第5回総会以降は現行の役員数を基本に地方本部と連携し出向会社国労組合員から次期役員を選出し4~5月頃に「出向者連絡会役員会」開催し、総会を6月に開催する。

※氏名掲載は、紙面の都合上、議長・事務長とさせていただきます。

議長 志村 勉  
事務長 島崎 敏文

**東鉄工業**

議長 田中 博  
事務長 広瀬 友昭

**ユニオン建設**

議長 樋口 尚司  
事務長 若竹 敏男

**ビルテック**

議長 吉田 勉  
事務長 佐藤 光昭

**テムズ**

議長 倉石 勇  
事務長 井上 恒男

**第一建設**

議長 中村 政道  
事務長 人見 希七郎

**交通建設**

議長 高橋 三樹男  
事務長 斉藤 博

**仙建工業**

**東日本  
出向連役員**

# 出向連総会

# 会社に物を言い、安全軽視の企業体質を変える出発点に

総会開催で挨拶にたった佐藤委員長は冒頭、4月25日に発生したJR西日本・福知山線の脱線事故に触れ、「『安全は輸送業務の最大の使命』であることを痛切に感じさせる出来事～事故は『信頼』を一瞬のうちに奪いとり、信頼の回復には血のにじむような努力が求められる。～死者、負傷者の皆さんの怒りや悲しみ、家族の悔しさと切なさを今後の安全輸送の確立に活かしていく決意を固めたい。」と、参加者に訴えると共に、「出向連では、『専門特化』の枠組みを今一度現場の実態からの検証、すなわち事故防止やJR・協力会社相互の技術力低下の防止・維持向上策について～労働条件の改善は勿論～出向経験者や下請け労働者の事情に通じている～豊富な経験を生かし安全安定輸送の確保



ビルテック交流会



総会終了後の懇親会・交流会

と利用者へのサービス向上に～」と、出向連に要請した。

次に、東日本本部からの提起（一面掲載）を受け、会社別報告では、「夜間作業中に、あわや人命にも係わる」ような事態、或いは「JRに戻った人の補充はプロパーでされる。プロパーの人は物を言えないで仕事を

しており、会社の利益本意、安全軽視の体質が現れている。」などの発言がされた。

最後に、総会前段の会社別交流会で確認された各社への「要求」を柱に、出向職場の労働条件を改善させ、安全な鉄道輸送を確立することが意思統一され、その後、新役員を確認し、懇親会に入った。

## 新潟中越地震から8ヶ月 支援を心の支えに

この度の新潟中越大震災に対して、大変心温まる貴重なカンパの取り組みを心から厚く御礼申し上げます。皆様からの温かいご支援に対し、仲間の大切さと有り難さを、痛感しております。

平成16年10月23日午後5時56分頃、新潟県中越地方を震源とした、最大「震度7」の地震が襲い、静かな秋の夕暮れを、突如として恐怖のどん底に突き落としました。本震以降有感地震が500回を超えるかに超え、間隔が長くなったとはいえまだ余震が続いています。

地震発生直後から、電気・水道等のライフラインはストップし、住宅内の被害と相次ぐ余震から身を守る為、避難所や車での生活が数日間続きました。

地震による被災地域は、震源地に最も近い小千谷市岩沢地区をはじめとし、十日町市、川西町、中里村で住宅・家財等何らかの被害を受けた組合員は11名でした。地震後の調査の結果、組合員・家族にけが人はなく、倒壊した住宅もなかったことが、何よりも幸いでした。

これから、住宅等の本格的な修理に入りますが、皆様から頂いた貴重な義援金は、大切に使用させていただきます。分会組合員も、皆様の温かい支援を心の支えににして元気を出してこれからも頑張っていきたいと思っております。

本来なら、お会いして、直接お礼を申し上げなければならないところですが、諸事情により書中にて失礼をお許し下さい。

2005年6月吉日

国鉄労働組合 飯山線分会 執行委員長 桜井 敬三



礼状を佐藤委員長に渡す桜井さん



交通建設交流会



東鉄工業交流会

僕のがん保険は、病気もケガも保障する。

しかも、保険料が一生上がらない。保障が一生つく。がん保険を選ぶなら、アメリカンファミリーです。

新健康応援団MAX 終身タイプ

21世紀がん保険 特約MAX

「がん」の生涯保障 <21世紀がん保険>	
BESTプラン・1倍	ご本人の保障
初めて診断されたとき	〈一時金として〉 がんの場合 100万円 上皮内新生物の場合 10万円
入院したとき	1日につき 10,000円
手術を受けたとき	1回につき 20万円
高度先進医療を受けたとき	技術料に応じて 6~140万円
通院したとき	1日につき 5,000円
がんで死亡したとき	10万円

・保険期間：終身・契約年齢：満3歳～満80歳・解約払戻金0コース  
〈引受保険会社〉  
自信があります。私の医療保険。

AFAC アメリカンファミリー生命  
東京第三営業本部 第三支社 ☎03-3344-1889  
〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル

がん以外の「病気・ケガ」の生涯保障 <特約MAX21終身タイプ>	
ケガの保障は90歳までとなります。	ご本人の保障 [本人型]
病気で入院したとき	1日につき 5,000円 (1日目から)
ケガで入院したとき	1日につき (手術の種類により) 5・10・20万円

・保険期間：終身(ケガの保障は90歳までとなります)・疾病・災害入院給付金日額5千円  
・契約年齢：満3歳～満80歳(本人型)・1回の入院については124日まで保障 ※日帰り入院(1日入院)とは、入院日＝退院日の入院で、入院料の支払いの有無で、入院であるかどうか判定されます。

◎詳細はパンフレット、ご契約のしおり・約款をご覧ください。

■専業代理店  
アベニール 株式会社  
TEL 03-3437-6810 FAX 03-3437-6822

〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F  
AFN広告-2003-015-0402051 2月21日